

中学校の数学科の先生方へ



今年の高校入試の分析からこんなことがわかりました！

合格者の数学の平均点は、50.5点

☆正答率(※)が高かったのは、大問1の各問題、大問2以降の基礎的・基本的な知識や技能に関する問題です。特に式の計算や角度の計量、三平方の定理による線分の長さの計量については、定着が図られています！



特徴的な問題を見てみましょう！

2 1 咲子さんと健太さんは、次の【課題】について考えた。下の【会話】は、2人が話し合っている場面の一部である。

このとき、下の(1)、(2)の問いに答えなさい。

【課題】 (中略)
【会話】

咲子：(I)の答えは $\frac{1}{4}$ だよな。
①

(中略)

(1) 【会話】の中の下線部①について、この確率の意味を正しく説明している文を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 1個の玉を取り出してもとに戻すことを4回行うとき、かならず1回、3が書かれた玉が出る。

イ 1個の玉を取り出してもとに戻すことを4回行うとき、少なくとも1回は、3が書かれた玉が出る。

ウ 1個の玉を取り出してもとに戻すことを4000回行うとき、ちょうど1000回、3が書かれた玉が出る。

エ 1個の玉を取り出してもとに戻すことを4000回行うとき、1000回ぐらい、3が書かれた玉が出る。

<標準解答> エ

<ねらい>

この問題は、不確定な事象について、確率の意味を、定義に基づいて正しく理解しているかを問う問題でした。

<分析>

正答率は44.8%でした。課題としては、不確定な事象に関して、場合の数を基に学習を進めていく中で、本来の確率の意味が理解できていないことなどが考えられます。

<提案>

授業では、場合の数に基づいて確率を求めさせるだけでなく、確率の本来の意味を実感できるように、実際に多数回の試行を行うなどの場面を意図的に取り入れるなどの工夫も必要です。



「分かる！・できる！」まで教えよう！（授業改善のkeyword）
各問いの出題内容・ねらい及び正答率は裏面をご覧ください！
詳しい分析は、報告書や県教育研修センターのHPをご覧ください！

(※)正答率については、合格者4,055人の中から、無作為に抽出した630人(15.5%)分のデータです。